

ノンテクニカルスキル教育のコンテンツ紹介教室 DEF のご案内

教室の種類

教室 A：とっさの行動を防ごう！（2020 年 12 月 1 日制作）

教室 B：考えてから行動しよう！（2020 年 12 月 1 日制作）

教室 C：注意深くなろう！（2020 年 12 月 1 日制作）

教室 D：しなやかさを養おう！（2021 年 8 月 13 日制作）

教室 E：言い出す勇気をもとう！（2021 年 8 月 13 日制作）

教室 F：きまりを守る大切さ！（2021 年 12 月 3 日制作）

教室 G：レゴ組み立て演習（2022 年 3 月 2 日制作）

教室 H：優先度付け演習（2022 年 4 月 11 日制作お申込み条件あり）

教室 I：疲労管理（2024 年 9 月 27 日制作）

教室共通の要領

受講日：発注者と打合せして発注者の希望日に実施

受講形態：Teams か Zoom で実施（発注者の希望アプリで対応）

企業特設教室となります。但し教室 8 は別記

講師料：総額税込み 38979 円、源泉税 3979 円 請求額 35000 円

10 名を超える場合はひとりにつき 3500 円の追加

但し教室 8 は別記

受講時間：概ね 70 分間から 120 分間 質疑応答は自由

受領できるもの：教室で使用されたパワポの電子版（ダウンロード期限付き）

教室で使用された記入用紙類の電子版など

事前準備：必要な演習記入用紙。記入用紙は開催 1 週間前に主催者が発注の代表者に電

子メールで送付します。参加者はそれを印刷して演習を実施する。

受講お申込み：南川行動特性研究所の HP 上の問い合わせに記入

教室 D：しなやかさを養おう！

～「思い込み」に気づける人が、事故を防ぐ～

変化の激しい時代、求められるのは「正解を知っている人」ではなく、

- ・状況に応じて考え直せる人
- ・自分の思い込みに気づける人
- ・立ち止まって自問自答できる人です。

近年の事故やトラブルの背景には、

「こうだと思った」

「いつも通りで大丈夫」

「確認したつもりだった」

といった“思考の硬直化”が数多く存在しています。

本教室では、Safety II の考え方をヒントに、

「しなやかな思考」と「自問自答力」を高める演習を体験します。

特に、心理学でいう「自己観察法」を活用し、“もうひとりの自分”との対話を通じて、

いつも尋ねられている状態を続けて「自問自答力」を高める演習を体験します。

を客観的に見つめ直します。

単なる知識教育ではなく、

“自分の内面に気づく”参加型教室です。

事故防止、コミュニケーション、判断力向上、災害の水平展開など、あらゆる場面で役立つ「しなやかさ」を体験的に学びます。

■ プログラム (90 分)

- | | |
|-------------------------|------|
| ① Safety II の考え方を現場に活かす | 5 分 |
| ② 「思い込み」はなぜ起きるのか | |
| バスケットボール映像で体感する認知の偏り | 5 分 |
| ③ しなやかな思考を高めるポイント | 25 分 |
| ④ “もうひとりの自分”との対話 | |
| 「自問自答力」の向上演習 | 35 分 |
| ⑤ 災害の水平展開に自問自答を応用 | 5 分 |
| ⑥ 事故事例研究 1 件 | 10 分 |
| 合計 | 85 分 |

受講料に含まれるもの：

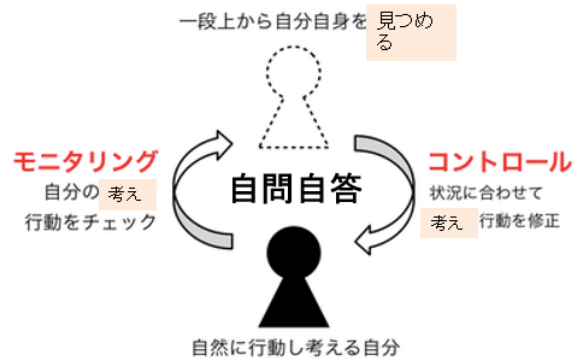
- ・教室で使用されたパワポの電子版、映像は含みません、

②「自問自答力」を知る

「もう一人の自分」との対話を実施

「自問自答」とは？

- ・自分を
第三者的に見ること
- ・イメージとしては、
もう一人の自分がいて、
自分のことを上から
見つめ、コントロール
する状態（右図）



教室 E：言い出す勇気をもとう！

「ひとこと言っておけばよかった」、「知っていると思った」など声をかけておけば正しい手順で作業ができ、トラブルが発生しなかった経験があると思います。「沈黙は金」ではなくなりました。社会心理学が提唱した「責任の分散」や「多数の無知」を知り、その事例（**テネリフェの航空機事故**）から学び、言い出すことが大切であることを認識できる教材です。人はなぜ意見や情報を言わないかの構成要素も話されます。

この教室は体験教室4の言い出す力と傾聴力と深く関係します。

教室4で、ご自分のその特性の度合を自己診断（I Kマップ）するのもいいかもしれません。

所要 85 分

あなたならどうする演習（実際は実施せず）

初老の方が青白い顔で苦しそうにしていた所を通りがかった。
あなたはどうしますか？

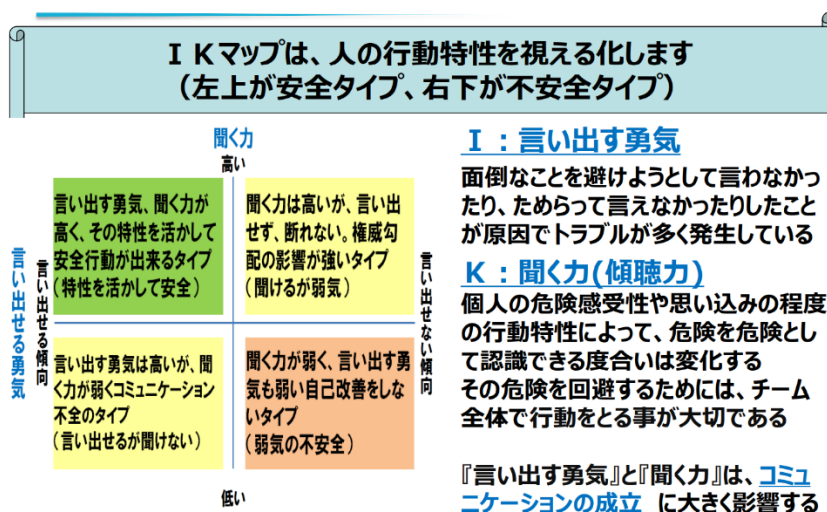


図：教室での演習課題（教室では実施しません）

- ① チームエラー発生メカニズム（なぜ起こるか）
言い出すことの必要性
社会心理学の責任の分散や多数の無知 評価懸念の行動 35 分
 - ② 傾聴力と言い出す力の関係
人はなぜ意見や情報を言わないかの理由構造 30 分
 - ③ テネリフェの事故事例研究 1 件
K&L 機内のコクピットと管制官のやり取り 音声の日本語訳解説付きで
どうすればよかったかを意見交換 20 分
- 合計 85 分

受講料に含まれるもの：

- ・教室で使用されたパワポの電子版



教室 F：きまりを守る大切さ！

事故防止に特効薬はありません。

しかし、「なぜ人はきまりを守らないのか・守れないのか」を理解し、「告白」を利用して現場で語り合うことは、安全文化を変える大きな第一歩になります。

本教材では、規律遵守を阻害する“8つの行動パターン”を学び、さらに自身の体験や教室で用意されている「告白」を通じて少人数で意見交換を行います。

(教室ではスモールミーティングと呼ぶ)

その中で、自職場に潜む“守れない心理”や“慣れ・思い込み”を可視化し、心理的安全性についても言及し、出現傾向を認識できる構成としています。

事故の多くは、高度な技術不足だけでなく、

- 「これくらい大丈夫」
- 「今まで問題なかった」
- 「タイムプレッシャーがあつて忙しいから省略した」

といった日常の規律逸脱から始まります。

規律遵守性の向上に近道はありません。

現場での対話、気づき、共感、そして地道な横展開を積み重ねることで、はじめて“広い意味での安全文化”が育っていきます。

私は長年ノンテクニカルスキル教育に携わる中で、教育効果が現場に根づくまでには5～6年ほどかかることを実感してきました。

それは、単なる知識教育ではなく、「社員一人ひとりの意識改革」が必要だからです。

本教材は、従来型のノンテクニカルスキル教育に加え、“ノンテクニカルスキル 2.0”の視点も後で取り入れています。

単なる手法習得ではなく、「人の行動変容」に焦点を当てた、安全意識改革のための教材です。

規律遵守性向上の第一歩として、現場での対話と気づきを生み出すことを目指しています。

所要 90 分（休憩なし）

人はなぜ規則を守らないか・守れないか 8パターン

安全だという思い込み

規定の存在を知らない	変更管理の対象になる工事をしようとしたが、変更管理のまな板に載せなかった。
規定を理解していない	生乳工程で停電が発生して生乳の温度が上がり、規定では廃棄すべきを通电後、通常工程にいった。そして、食中毒事故を起こした。
規定を納得していない	食堂の入口は決まっているが、出口から入るのが近いので入る。
規定をみんなも守っていない	携帯電話歩行はしてはいけないルールになっていても守っていない方がいる。

図：8パターンの一部

① 人はなぜきまりを守らないか・守れないか 8パターン 15分

8パターンの紹介と典型的な分布

② きまりを守らなかった告白 30分

きまりを守れない・守らない告白（参加者がその場で記入）

スモールミーティングの実施（やり方の説明含む）

③ 某工場各部署の規律遵守性向上の取り組み 20 分

きまりを守る教育から横串管理の展開までの PDCA
規律遵守性の向上の PDCA

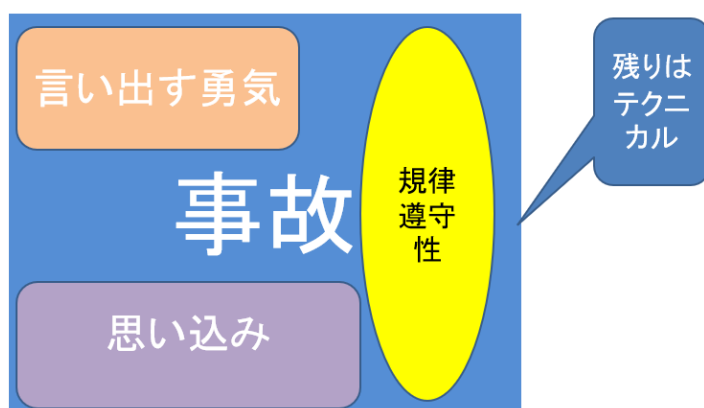
④ あなたならどうする演習 2 問 25 分

所要 90 分（休憩なし）

受講料に含まれるもの：

- ・教室で使用されたパワポの電子版
- ・告白用紙の電子版

事故原因の分布



図：教室で話される事故原因の分布例示

受講者の教室へのお声の振り返りシートからの抜粋

D 教室 4：しなやかさを養おう！

ノンテクニカルについて聞きなれないメンバーもいましたが、
今年度については要領も理解し理解を深めることができました。

2022 年 7 月 K 氏

バスケットボールの思い込み映像を自作されていて いい教育効果がある。

2024 年 11 月 I 氏

「自問自答力」の向上演習は一見しゃべるだけの演習かと思ったが、演習後の「尋ねられている状態」を維持するのが大事であると判った。

2024 年 9 月 S 氏

普通レジリエンス向上とおいうテーマになるが大和言葉の「しなやかさを養おう」はとっつきやすい。

2024 年 9 月 A 氏

教室で紹介された事故事例はどこの会社でもあるだろうと納得した。

2023 年 6 月 O 氏

E 教室 5：言い出す勇気をもとう！

テネリフェの事故事例が話され、最後の場面であなたはどうか？の設問に机上では答えられても、実際に難しいと思った。

2025 年 9 月 A 氏

リンゲルマン効果を学び、職場での「あるある」だと思い、言い出さねばならない状況になった時は 意識しようと思います。

2024 年 7 月 T 氏

数件の事故とノンテクニカルスキルの要素の関連表が示され、言い出せないことが原因の事故も背景には「言い出せない雰囲気職場（管理職）が作っていた」のかもしれない。

2022 年 7 月 K 氏

人はなぜ意見や情報を言わないかの理由構造の説明の中で「自己正当化」に分類された行動が多いのだと思った。

2022 年 7 月 U 氏

F 教室 6：きまりを守る大切さ！

演習体感を実施する前に、身に付くあるいは感じ取ることができる、ノンテクニカルスキルのカテゴリーや項目を説明頂くと、より詳しくノンテクニカルスキルの内容が腹落ちすると思いました。

2024 年 12 月 T 氏

人はなぜ規則を守らないか・守れないかの話の中で、経営層から「守れないか」というキーワードを反映した話や、現場の上司も、重要性を理解して継続的な活動が出来ている事が伝わりました。

2024 年 12 月 Y 氏

決まりを守る大切さについて気づいてもらうためには、地道にコツコツと対話を続けていくことが大切であり、時にはTOPダウンといった視点で進めていくことが必要だと感じた。ロールプレイに関しては、題材をあと1つくらい追加することで、コンテンツの理解がより深まる感じがしました。

(南川より：教室では2問くらいかと思いますが、従業員向けの実際の教育現場では3，4問よろしくお願いします)

2024 年 12 月 M 氏